

Rotary
Club of KOBE EAST



The Rotary club of Kobe East Bulletin

神戸東ロータリークラブ会報

No.379 2015-2016 No2

表紙絵：太原 震也元会員

会長／道上 明 副会長／岩野 了 幹事／鮑 悦初 雑誌会報委員長／弘田 芳裕 副委員長／田中 寿夫
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日

クラブ会長テーマ 「－原点をみつめ、愛あるロータリー活動を－」



世界へのプレゼントになろう

RI President

K. R. “ラビ” ラビンドラン
2015-2016年度国際ロータリー会長





国際ロータリー第 2680 地区
ガバナーエレクト **室津 義定**(尼崎中)

ロータリー財団の補助金システム

1. はじめに

皆さん、こんにちは！ガバナーエレクトの室津です。本日は、伝統ある神戸東ロータリークラブで卓話をする機会を与えていただき、大変光栄に思います。同時に、幾分緊張しております。何故なら、当クラブにはロータリー財団関係者の方がたくさんおられるからです。次年度の地区ロータリー財団委員長は、久野バスターガバナーですし、松下様は元資金管理小委員長で、松谷様、村元様は前および現奨学金小委員長です。その他多くの会員の方が財団関係委員会の経験者としておられますので、卒業試験を受けているような気分でございます。本日は、ロータリー財団の概要、ロータリー財団の資金、およびロータリー財団の補助金プログラムについて、お話しさせていただきます。

2. ロータリー財団の概要

まず、ロータリー財団の歴史を簡単に復習したいと思います。1917年にアーチ・クランプRI会長が、「世界でよいことをしよう」と呼びかけ、「ロータリー基金」の設置を提唱しました。そして、26ドル50セントの寄付がありました。1928年に非営利信託組織となり、「ロータリー

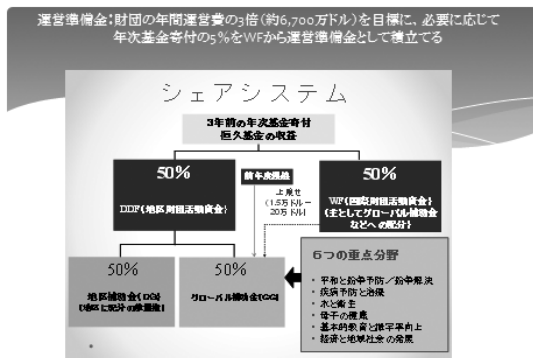
財団」と名称が変更されました。1929年に最初の補助金を「国際障害児協会」に寄付しました。ロータリー財団が発展したのは、1947年のポール・ハリスの死を悼んで、世界のロータリアンから多くの寄付が寄せられ、財団に「ポール・ハリス基金」が設立されてからです。そして、「国際親善奨学金」、「GSE」、「MG」、「3-H補助金」、「ポリオプラス」、「ロータリー平和フェロシップ」など多くのプログラムを実施しました。そして、2013年から全世界で、「夢計画」として、現在の新しい補助金モデルが導入されました。2017年には、ロータリー財団創設100周年を迎えます。

ロータリー財団のモットーは、「世界で良いことをしよう！ Doing good in the world!」です。また、ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする」ことです。

3. ロータリー財団の資金

ロータリー財団の資金源は、ロータリアンの皆様からの寄付です。寄付は、現在4つに分類されています。

- 1) 年次基金寄付：3年間資金運用後に原資が指定した分野の活動に配分されます。指定できる分野としては、従来からの地元と海外で実施される活動の支援、すなわちシェアの外に、国際財団活動資金WF、および6つの重点分野があります。
- 2) 恒久基金寄付：補助金とプログラムを永続的に実施できるようにするための恒久基金に対する寄付。原資は保存され、3年後の投資収益のみが指定したシェア、WF、ロータリー平和センター、冠名基金の活動に使用されます。
- 3) ポリオプラスに対する寄付
- 4) その他の基金寄付：承認済の補助金プロジェクト、臨時に設置された災害復興基金などの基金に対する寄付



この図は、シェア・システムを説明したものです。3年前の年次基金寄付と恒久基金寄付の収益が、地区と財団とにそれぞれ50%づつ配分される制度をシェア・システムと呼んでいます。地区に配分される50%を地区財団活動資金 DDF と呼んでいます。一方、残りの50%は国際財団活動資金 WF と呼んでいます。地区財団活動資金 DDF の50%は、地区に裁量権がある地区補助金 DG に使用でき、その残りがグローバル補助金 GG に使用できます。また、グローバル補助金としては、前年度からの繰越 DDF も使用できます。グローバル補助金 GG は、後ほどご説明しますが、ロータリーが定めた6つの重点分野に関して、実施国のロータリークラブと協同して実施するプロジェクトに使用されるものです。このようなグローバル補助金プロジェクトに対しては、地区が調達する資金額に応じて、国際財団活動資金 WF から1万5千ドルから20万ドルまでの上乘せがございます。これについても、後ほど説明いたします。なお、ロータリー財団は、財団の年間運営費の3倍を目標に、必要に応じて年次基金寄付の3%を WF から運営準備金として積立てることを決定しています。

2014-15 年度における RID2680 の地区財団活動資金 DDF 会計をお示しします。収入は、3年前の年次基金寄付から 178,738 ドル、恒久基金寄付の収益から 10,700 ドルがシェアとして配分されました。前年度からの繰越 DDF が 216,134 ドル、前年度地区補助金の返還額が 9,178 ドルで、期首の収入合計は 414,750 ドルで

した。支出は、寄付としてポリオプラスに4万ドル、ロータリー平和センターに3万ドル、グローバル補助金として奨学金に 19,300 ドル、人道的プログラムに 5,500 ドル、VTT に 15,653 ドル、地区補助金として 80,896 ドル、支出合計は 191,349 ドルです。205-16 年度への繰越 DDF は、223,401 ドルとなっています。

RID2680 の 2014 - 15 年度 DDF 会計

1. 収入	ドル
3年前の年次基金寄付の 50%	178,738
恒久基金寄付の収益の 50%	10,700
前年度からの繰越 DDF	216,134
前年度地区補助金返還額	9,178
2014 - 15 年度期首 DDF 合計	414,750
2. 支出	
(寄付) ポリオプラス	40,000
ロータリー平和センター	30,000
(グローバル補助金)	
奨学金	19,300
人道的プログラム	5,500
VTT	15,653
(地区補助金)	80,896
2014 - 15 年度支出合計	191,349
3. 次年度繰越 DDF	223,401

4. ロータリー財団の補助金プログラム

ロータリー財団の補助金プログラムは、地区補助金 DG とグローバル補助金 GG の二つになりました。

4.1 地区補助金

地区補助金には、奉仕プロジェクト、地区奨学金、および職業研修チーム VTT のプログラムがあります。職業研修チームは GSE に代わるプログラムです。いずれも、地元や海外の緊要なニーズに取り組むための補助金で、短期的な成果が期待できる予算規模の小さいものが対象で、個別プロジェクトの採択権は地区にあり



ます。

本地区で実施された奉仕プロジェクトの例をご紹介します。「響け 若人の歌ごえ 被災地から被災地へ」は、「東日本大地震の被災地福島県南相馬」と「2度の震災を受けた淡路」の青少年合唱団が交流したプロジェクトです。「 Dengue熱」蚊駆除用ハーブオイル抽出機の普及に関するプロジェクトは、タイ国において実施されました。「永田萌さんと王子公園で絵を描こう」は神戸東 RC が実施されたプロジェクトです。

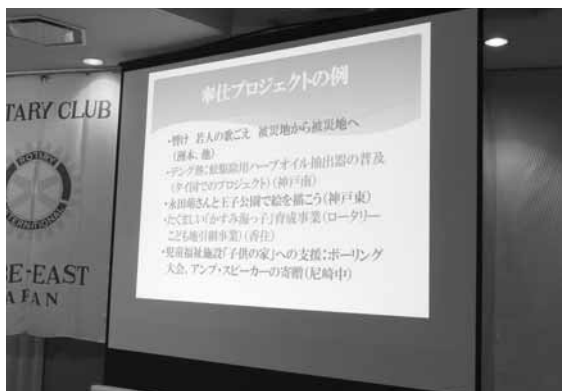
地区奨学金には、3種類あります。タイプ1は、国内の教育機関に修学する経済的に恵まれない学生に対する奨学金で、給費額は一律20万円です。タイプ2は、海外留学生に対する奨学金で、給費額は12,000ドルです。タイプ3は、海外での文化・芸術・語学研修生に対する奨学金で、給費額は2,000ドルです。

地区補助金プログラムに対するクラブの資金調達は、次の通りです。奉仕プロジェクトに関しては、地区補助金からの拠出は、総予算額の50%、かつ50万円以下、残りはクラブが拠出します。地区奨学金に関しては、各奨学金の80%を地区補助金から拠出し、残りの20%をクラブが拠出します。

地区補助金プロジェクトに対するクラブの資金調達

1. 奉仕プロジェクト

地区補助金からの拠出は総予算額の50%以下、かつ50万円以下、残りはクラブが負担



2. 地区奨学金

地区補助金からの拠出は各奨学金の80%、残りの20%はクラブが負担

地区補助金を申請するためには、「クラブが参加資格」を取得することが必要です。各クラブから提出された地区補助金プロジェクトの申請は、地区で審査した後、地区から財団に一括申請し、承認されたプロジェクトの補助金を地区が受領し、各クラブに配分します。申請締切は、3月末、年1回です。なお、例外的に年度中に臨時費対応のプロジェクトを申請できることもあります。

4.2 グローバル補助金

ロータリーは「人道的奉仕の重点化と増加」を図るために、6つの重点分野を特定しました。それらは、ロータリアンが世界中で取り組んでいる緊要な人道的ニーズや課題を反映したもので、ロータリーが取り組むほかの国際的な開発活動とも調和するほか、ロータリー財団の使命を助長するものです。

6つの重点分野

- ・ 平和と紛争予防 / 紛争解決 (平和)
- ・ 疾病予防と治療 (健康)
- ・ 水と衛生 (健康)
- ・ 母子の健康 (健康)
- ・ 基本的教育と識字率向上 (教育、貧困)
- ・ 経済と地域社会の発展 (貧困)

各重点分野には、基本方針が示されています。それらの基本方針には、補助金手続きの効率化を図り、プロジェクトの質を高める指針が示されています。それらに従えば、グローバル補助金プロジェクトとしての受領資格があることとなります。さらに、ロータリーとして活動実績のある分野を反映しています。なお、プロジェクトの計画は提唱クラブが主導するものであって、基本方針に従う必要があります。



グローバル補助金は、重点分野の基本方針に従って、その目標を達成するための人道的プロジェクト、奨学金、および職業研修チーム VTT が対象です。実施国のニーズに基づいて、実施国のクラブと援助国のクラブとの大規模な協同プロジェクトであること、すなわち WF からの上乗せが 1 万 5 千ドル以上、すなわち予算規模が 3 万ドル以上でなくてはなりません。さらに、プロジェクト完了後もその成果が持続するとともに、目標の達成および成果が測定可能である必要があります。

職業研修チーム VTT は、以前の GSE に代わるプログラムです。すなわち、専門職業の研修を提供するチームや研修を受けるチームを海外に派遣したり、海外から受け入れることによって、チームメンバーの職業スキルや知識を生かして、地域社会の人びとのスキルを高め、持続可能・測定可能な成果をもたらすプログラムが職業研修チーム VTT です。

グローバル補助金プロジェクトの例を紹介します。人道的プロジェクトとして、「水と衛生」の分野で、インドとのプロジェクトは、簡易ダム設置などの農業灌漑によって貧困層の住民の自立を支援するプロジェクトで、芦屋ロータリークラブが主提唱者として実施されました。総予算は 108,950 ドルでした。奨学金プロジェクトは、「経済と地域社会の発展」の分野で、ロンドン大学への留学を、和田山ロータリークラブが提唱者として実施しました。総予算額は、44,557 ドルでした。また、VTT として、尼崎西ロータリークラブが主提唱者として、「疾病予防と治療」の分野で、ネパールの看護師能力向上プロジェクトを総予算 33,781 ドルで、実施しました。

グローバル補助金プロジェクトの資金調達について説明します。グローバル補助金に関しては、国際財団活動資金 WF から、提唱クラブからの現金拠出金に対しては、その 50% の上乗せがあり、地区のグローバル補助金 GG からの DDF 拠出に対しては、その 100% の上乗せが

あります。なお、本地区では、提唱クラブの現金拠出金に対して、グローバル補助金 GG からの DDF の上乗せがあります。人道的プロジェクトに対しては、現金拠出金の 2 倍の DDF を、奨学金と VTT に対しては、現金拠出金の 5 倍を上乗せします。

グローバル補助金プロジェクトへの上乗せ

1. 国際財団活動資金 WF からの上乗せ

(財団規定)

クラブから現金拠出金に対して 50%

グローバル補助金 GG からの DDF に対して

100%

2. クラブからの現金拠出金に対する GG からの DDF 上乗せ

(地区規定)

人道的プロジェクトに対して

現金拠出金の 2 倍

奨学金、および VTT に対して

現金拠出金の 5 倍

したがって、人道的プロジェクトの場合の資金調達の積算は、次のようになります。クラブの現金拠出金 C に対して、財団の規定により、国際財団活動資金 WF からその半分 0.5C の上乗せ、本地区の規定により、グローバル補助金 GG の DDF からその 2 倍 2C の上乗せ、さらに DDF に対して WF から同額 2C の上乗せがあり、調達資金合計は 5.5C となります。また、援助国側提唱者の負担額は、提唱者による拠出金総額の 30% 以上でなくてはなりません。一方、援助国には、義務ではありませんが、資金拠出が期待されています。なお、財団の運営費を確保するために、2015 年 7 月 1 日から、送金手続きの処理等の費用として、グローバル補助金の現金拠出額の 5% を加算して財団に支払うことが必要になりました。

また、奨学金と VTT についての調達資金の積算は、次のようになります。クラブの現金拠出金 C に対して、財団の規定により、WF か



らその半額 0.5C、本地区の規定により、GGのDDFからその5倍5Cの上乗せがあり、さらにDDFに対してWFから同額5Cの上乗せがありますので、調達資金合計はクラブの現金拠出金の11.5倍の11.5Cとなります。

グローバル補助金の申請は、年間を通じて受け付けますが、申請の審査は年4回行うことになっています。

5. おわりに

以上、ロータリー財団の補助金システムについて、説明させていただきました。RI2680地区では、残念ながら、地区補助金につきましても、グローバル補助金につきましても、地区に配分された地区財団活動資金DDFが、クラブおよび地区が主導する奉仕プロジェクトとして十分に利用されていないのが現状です。神戸東ロータリークラブにおかれましては、今後とも地区補助金プロジェクトを継続的に実施していただくとともに、グローバル補助金プロジェク

トにも挑戦していただきますようお願いいたします。長時間に渡り、ご清聴ありがとうございました。





「私の現在過去未来」

鈴木 祐一

—大和船舶土地—

今回、伝統ある神戸東ロータリークラブに入会を認めていただきありがとうございます。

さて、私の自己紹介をさせていただきます。

私は、昭和34年9月23日生まれの現在56歳です。神戸市立板宿小学校、神戸市立本山中学校を経て、兵庫県立神戸高校を卒業し、京都市芸繊維大学工芸学部建築学科に入学し、卒業後は同校大学院修士課程を修了しました。その後、直ちに父が経営する大和船舶土地株式会社に入社しました。本業は家主業ですので、コンセプトを重視した建物・諸施設をつくり続けて現在に至っています。基本的に住宅では、ベルトウリー・Y's house・D house、事務所・店舗では鈴木ビルといったブランドで展開しています。

弊社のグループは、大和船舶土地(株)、(株)大鈴、(株)大和リース、(有)大和建物管理の4社で構成されていて、全て家主の会社となります。

神戸市内各所で4社及び私、私の父で所有、運用している不動産は合計約50,000㎡程度になっています。ビルディングタイプも事務所・店舗・駐車場等、変わったものでは宗教施設と多岐に渡っています。ただし私が建築家としての教育を受けたので普通に建物を建てるのでは

なく、私が事業主かつプロデューサーとして設計チームを統括し、その街の文脈を活かしたコンセプト重視のものづくりを地域集中して連鎖的に建て続けることにより、開発の成果として点が線になり面的に広がることで、神戸らしい街づくりと同時に古い街の活性化ができればとの思いをもって毎日努力しています。

具体例をご紹介すれば、須磨ニュータウンでは集合住宅、ロードサイドのコンビニエンスストア、ロードサイドレストラン等街に必要な機能を集約しリニアに構成させた施設群をつくりました。板宿地区は私どもファミリーのオリジンですので、Y's house というコンセプト重視の集合住宅を20棟程度連鎖的に建設してきましたし、今後もこの地域にある古い建物をリノベーション・建て替えの計画をしています。兵庫区においても数カ所ベルトウリーというブランドにて展開中です。また、中央区においては、ベルトウリー・Y's house・鈴木ビル(事務所、店舗等)・A教団のお寺を展開していますし、岡本地区においても、伸幸ビル・ベルトウリー・Y's house を展開しています。

結果としまして、2009年、2012年、2013年、2014年、2015年度のグッドデザイン賞(日本デザイン振興会主体)を合計10件受賞するに至っています。この賞はもともと通産省がつくった賞で、消費者の中では一番知名度があるとのことなので、今後も連続受賞できるように力をいれたいと考えています。

今後につきましては、地元の大学である神戸芸術工科大学環境学科内の禅昌寺・神撫町プロジェクトチーム(花田教授、川北教授)との連携をより一層強化して、産学共同で地域に密着し貢献できる不動産投資を継続していくことと、街の活性化に必要な地域と時代に合致した医療サービスも弊社の中で実現し美しい神戸らしい街づくりを着実に実現したいと願っています。

まだまだ稚拙な私ですが、皆様宜しくお願ひ申し上げます。



第 8 回神戸東ロータリークラブ杯 中央区少年団親善野球大会を開催



10月18日 神戸市立山の手小学校において、「第8回神戸東ロータリークラブ杯 中央区少年団親善野球大会」を開催致しました。当日の様子が神戸新聞に記事として掲載されました。ご協力下さった会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

(以下、神戸新聞より)

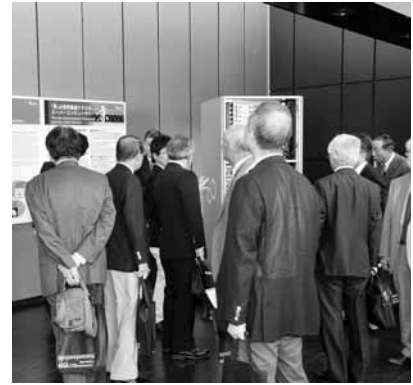
卒業前の思い出に中央区の少年団野球部に所属する小学6年生がチームの垣根を超え、混成チームで試合を楽しむ親善大会(神戸東ロータリークラブ杯)がこのほど、同区中山手通の山

の手小学校で開かれた。卒業を前に(普段対戦している相手と仲良くする機会を)と、同クラブ(道上明会長)が協賛し8回目。今年は8チームの48人がくじ引きで4チームに分かれ、トーナメント方式で熱戦を展開。赤チームが優勝した。唯一の女子ながら投手で4番を務め、本塁打を放つなど優勝に貢献した川瀬芽依さん(12) = なぎさ小6年は「いつもと違う勝負で面白かった。他のチームの選手ともいろいろ話せた」と満足そうだった。

(青少年奉仕委員長 福原 敏晃)



神戸市が最重要課題として取り組んでいる 医療産業都市と世界レベルのスーパーコンピューター「京」の見学



過去数年間は会員の職場訪問をしてきた訳ですが、今年度は道上会長の“時代に合った職場訪問を”という諮問に沿い、会員が職業を営んでいる当該地域である神戸市に焦点を当て、職場訪問を企画致した次第です。平成 27 年 10 月 27 日、道上会長他 39 名の方々にご参加を頂きました。まず最初に KIMEC センタービルにバスで到着すると、神戸市企画調整局の石井係長他スタッフにお出迎えを頂きました。次に 10 階のセミナー室で、内藤部長からスライドを使って、医療産業都市構想の歴史、特に現況・将来構想をご説明頂きました。その後展望ロビーに移動し、俯瞰見学を実施した次第です。今年の世界保健相サミットの話を含めて、この医療産業都市構想の実現が神戸市経済活性化の

起爆剤になるものと期待をしております。次にバスで理研計算科学研究機構 AICS に移動し、研究棟 6 階にて施設概要の説明を 20 分ほど受けました。「京」の登場により、スパコン産業利用が大きく拡大し、産業の国際競争力強化にも不可欠なインフラになったことは明白で、現在 100 社以上が「京」を利用しており、全ユーザーの約 30% が産業界の人々だとの事です。説明終了後、正面シャッターが上昇し、前方全面にコンピューター本体が急に現れると、その迫力に声が上がった事が印象的でした。今回の職場訪問により会員が知識見聞を高め、各自の立場において意義ある職業奉仕の実践に活かさせて頂ければと願っております。

(職業奉仕委員長 大澤 勇)



秋の日帰り家族旅行として 「人形浄瑠璃鑑賞とふぐ堪能コース」を開催



2015年11月15日・日曜日に「人形浄瑠璃鑑賞とふぐご堪能コース」と題して、淡路島へ日帰り家族旅行に行ってきました。会員18名、事務局1名、奨学生姜君1名の合計35名の参加でした。

当日早朝は、あいにくの雨模様ではありましたが、出発時には雲ひとつない晴天に恵まれました。

まず最初に目的地・福良にて重要無形民族文化財に指定されている「淡路人形浄瑠璃」を鑑賞し、参加者一同は人形の細かい動きに目を研ぎ澄ましていました。

続いての目的地・洲本では、ホテルニューアワジにて海を一面見渡されたり、趣向の凝った温泉露天風呂を楽しんだ後、今旅行のメインイベント、道上会長提供の日本酒・都美人純米大吟醸「無限大」を呑みながら、淡路の海で育った丸々とふとった3年ふぐを頂きました。

そして最後は淡路ハイウェイオアシスにて土産を買い帰路に着きました。

今回は小学生4人の子供達も参加して頂き、家族委員長としては良かったのではないかと思います。

(家族委員長 林 伯正)





R12680 地区の奉仕プロジェクトとして採用された 「絵本作家永田萌さんと王子動物園で絵を描こう」を後援



11月29日 神戸市立王子動物園で開催された「絵本作家永田萌さんと王子動物園で絵を描こう」のイベントを当クラブが後援し、動物舎の前で参加者を見守るなど運営ボランティアとして参加者がスムーズに写生をしたり個別に指導を受けたりできるように支援しました。

このイベントは、子供たちに観察力や表現力を養ってもらう機会を提供することを目的とし

て開催され、保護者とともに参加した3歳から小学6年までの幼児・児童約90人が、思い思いに絵筆をふるい、好きな動物を水彩絵の具やクレヨンで楽しそうに描写していました。永田先生、動物園スタッフはじめ関係者の皆様、参加して下さった会員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

(青少年奉仕委員長 福原 敏晃)





神戸メリケンパークオリエンタルにて 忘年家族会を 109 名の参加で行いました



2015年12月22日・火曜日に神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて、恒例の神戸東ロータリークラブ忘年家族会を開催しました。会員67名、ご家族38名、事務局3名、奨学生1名の合計109名の参加者でした。

18時にコーラス隊の合唱、家族委員長の開会挨拶、道上会長の挨拶、奨学生・カン君をゲストとして紹介後、久野バスターガバナーの乾杯で会食が始まりました。

食事はホテル特製のクリスマスメニューのフランス料理フルコース。この日のためにホテル側と家族委員会にて試食を繰り返したので、きっと喜んで頂けたと思います。ワインはもち

ろん今井会員厳選のものでした。

この後、新入会員として後藤会員とご家族を紹介し、100点以上集まった会員からの景品で大抽選会を行いました。今年は例年以上に豪華であったため、当選された方は非常に喜ばれた一方、当選されない方は抽選者の私を見つめるので幾分緊張しました。

最後は神戸出身で2015年1月にメジャーデビューを果たした歌手「にこいち」のスペシャルステージに耳を傾けた後、「手に手つないで」で締め、今年度の忘年家族会を閉会しました。

(家族委員長 林 伯正)





7月21日「不良姿勢がもたらす機能障害オステオパシー医学考察」
代替療法センターホリスティック医科学ケア 代表取締役 院長 松下 高司 氏



9月1日「読書推進イベント『読まなきゃ！ in 神戸』ご紹介」
作家 福田 和代 氏



8月4日「臨時総会」(決算・予算)



9月8日「臨床アロマセラピー」
ホリスティックケアプロフェッショナルスクール 学院長 相原 由花 氏



8月11日「サッカーを3倍楽しく観る方法」
㈱クリムゾンフットボールクラブ 取締役副会長 三木谷 研一 氏



9月29日「縄文・津軽・そして現在」
鎌田 哲夫 会員



10月6日「上海の歴史 その1」 中尾 優 会員



11月10日「日本のロータリアンもっと喜んでください」 よねやま親善大使 スチッタ・グナセカラ氏



10月20日「医療施設と介護施設について」 宮 昭久 会員



11月24日「ロータリアンの知らないTVの世界」 村元 信吾 会員



10月27日「X X 10 ゴルフクラブ」
ダンロップスポーツ㈱ 相談役 馬場 宏之 氏



12月1日年次総会（理事役員選挙）
歌唱指導 西村 雅子 先生



12月8日「ロボット支援手術の魅力」
神戸大学医学部附属病院・病院長
神戸大学大学院医学研究科・医学部 教授 藤澤正人氏



1月12日「問題を抱える少年はどうやって立ち直るのか。
~これまでの活動を通じて感じたこと~」
春名・田中法律事務所 弁護士 田中賢一氏



12月15日「税務調査体験談」
田中寿夫 会員



1月19日「神戸・三宮センター街 過去・現在・未来」
松谷齊泰 会員



1月5日「初釜例会」



余韻会 (俳句同好会)

平成二十七年九月二十四日 於 西村屋 花みかげ

塔に触れてはコスモスの風の空	本郷 桂子
贈られし人の囁き梨むけば	執行 執艸
秋刀魚焼く香に耐へきれずまづ一献	高石 潜菴
蝉去りて雨音響く石畳	白羽 子誠
秋桜微かに揺れる思ひかな	角田 伯堂
秋桜や休耕田を画布として	壺井 仙岳
コスモスに見え隠れして遊ぶ子ら	吉井 聖倅
七輪に秋刀魚焼く音今昔	松原 氣宏
あざやかに咲きて小庭の秋桜	池西 清栄
秋桜を見わたす丘や船通ふ	神品 平
風に揺れ土手のコスモス波を打つ	橘 恵子
煙立て皿をはみだす秋刀魚かな	村野 離翔
佇めば金木犀の香の増し	飯田 美音

余韻会 (俳句同好会)

平成二十七年十一月二十六日 ホテルオークラ神戸 山里

芒野の風の奪ひし声となる	本郷 桂子
薄原風の形に靡き居り	執行 執艸
冬近し放ふるも得るも苦業かな	高石 潜菴
窓叩き木枯一番訪れし	白羽 子誠
満月のつくりし影の暗さかな	角田 伯堂
寝ころびてしばしすすきの葉ずれ聞く	則岡 弘士
秋の香を置いて花屋の車行く	壺井 仙岳
うそ寒や外れ承知のくじを買ふ	吉井 聖倅
やや寒やあまごづくしにすすむ酒	松原 氣宏
門前の焼栗美味し石齋寺	橘 恵子
従ひて抗ひもして風芒	村野 離翔
目を閉ちて心澄ませば秋の声	飯田 美音



写真と文 香山 道宣

「由良漁港」

昼間の由良漁港は寂しい感じですが、趣きと風情がありました。ここで水揚げされた魚介類は高級品として流通しています。

CONTENTS

ロータリー財団月間に因んで	1
新入会員自己紹介	6
第8回中央区少年団親善野球大会	7
職場訪問	8
日帰り家族旅行	9
絵本作家永田萌さんと王子動物園で絵を描こう	11
忘年家族会	13
例会スナップ	15
余韻会	18

編集後記

新年を迎え、道上会長年度も折り返しの時期となりました。第2号会報をお届け致します。

今号の記事は、多彩な委員会事業のレポートを中心に、室津ガバナ―エレクトのロータリー財団についての濃い内容の卓話などとなっております。入会まだ浅い私には1から10まで大変勉強になりました。ご高覧頂ければと存じます。ご協力下さった会員諸兄にあらためて厚くお礼申し上げます。

雑誌会報委員長 弘田 芳裕